

あいち食の安全・安心推進アクションプランの2019年度計画の進捗状況について

資料2

視点 1 生産者、加工者、流通・販売者における食の安全管理体制の推進

(1) 安全な農林水産物の生産の推進

アクション		2019年度計画		実績	備考	担当課
1	環境と安全に配慮した農業の推進	目標	エコファーマーの育成人数 平成32年度までに延べ5,600人	5,703人		農業経営課
	評価	A	事業の内容 エコファーマーの育成・支援	認定会議 4回実施		
2	安全な畜産物の生産と家畜疾病の監視	目標	家畜伝染病発生件数 過去5年間の発生件数の平均値以下 10件以下	16件	CSF発生のため。	畜産課
		事業の内容	畜産農家の飼養衛生管理について立入検査の実施 検査実績/検査計画=100%の達成	100%		
			養鶏農家におけるサルモネラ汚染防止対策技術（鶏卵のサルモネラ総合対策指針）の普及	個別巡回指導 210戸		
	BSE検査頭数/96か月齢以上の死亡牛発生頭数= 100% 養鶏農家などでの定期的な鳥インフルエンザ検査 対象9戸 毎月1回延べ1080検体		100%	9戸 延べ1080検体		
評価	C	鳥インフルエンザ監視検査	延べ138戸			
3	安全なきこの生産	目標	県内の生産者における、食品衛生法に基づく放射性物質に関する基準の超過事例 0件	0件		林務課
		事業の内容	生産者団体開催の研修会等において技術・情報の提供 4回延べ60名	6回 延べ62名		
	PR会1回 パンフレットの配布100部		PR会1回 パンフレットの配付 100部			
評価	A	生産者に対し、放射性物質の基準値を超えないきこの製造原料を使用するよう指導 随時	6回			
4	安全な貝類の出荷	目標	愛知県産貝類の貝毒を原因とする健康被害事例 0件	0件		水産課
		事業の内容	貝毒原因プランクトン調査 調査期間:4~7月、11~3月 調査地点:1回当たり14地点 調査回数:年間18回	4~7月、11~3月 1回当たり13~14地点 年間19回		
	貝毒検査 調査期間:4~5月、3月 調査地点:1回当たり6地点 調査回数:麻痺性5回・下痢性2回		4~5月、3月 1回当たり6地点 麻痺性5回・下痢性2回			
評価	A	自主検査の実施指導	指導回数1回			
5	農薬の適正な販売・使用による安全な農産物の生産	目標	本県産農産物における農薬の残留基準値超過事例 0件	0件		農業経営課
		事業の内容	農薬危害防止運動の実施	運動を実施		
			農薬危害防止運動集中実施期間: 6~8月	6~8月に実施		
			農薬適正販売・使用推進会議の開催	5月に開催		
			農薬安全使用対策講習会の開催 5回450名	6回 719名		
			農薬販売者・使用者に対する立入検査 農薬販売者の15% 使用者適宜	販売者:15.4% 使用者:4件		
			農薬危害防止のための講習会 20,000名	21,287名		
	農薬管理指導士の養成 100名		83名			
農薬取締職員による検査指導の継続・強化 8か所38名配置	8か所41名					
評価	A	地域特産作物の農薬登録拡大試験の実施 10剤	10剤			

アクション		2019年度計画		実績	備考	担当課
6	飼料、動物用医薬品及び水産用医薬品の適正使用	目標	飼料又は動物用医薬品の使用が原因となって生産された有害畜産物による健康被害事例 0件	0件		畜産課
			水産用医薬品残留規制値を超えた水産物を原因とする健康被害事例 0件	0件		水産課
		事業の内容	飼料製造工場立入検査 9施設	9施設		畜産課
			飼料栄養性検査 18検体	18検体		
			飼料表示検査 18検体	18検体		
			畜産農家等巡回指導・抜取調査 60戸	60戸		
			水産用医薬品の適正使用の指導対象者：ウナギ、アユ、マス養殖業者 実施率 100%	100%		
水産用医薬品の使用状況調査対象者：ウナギ、アユ、マス養殖業者 実施率 100%	100%		水産課			
評価	A	水産用医薬品の残留確認対象魚種：ウナギ、アユ、ニジマス 計16検体	計18検体			
アクション		2019年度計画		実績	備考	担当課
7	安全な農産物の生産を目指した技術研究	目標	安全で良質な農畜産物を生産する技術・品種の開発 2016年から2020年までに 5件	5件		農業経営課
		事業の内容	消費者視点に立った食の安全を支える農業の推進「耐病中性水稲品種・育種素材の開発」等 10課題	10課題		
8	食品流通における食の安全・安心の確保	目標	食品安全広域機動班が実施する監視の割合（監視実績/監視目標（施設数）） 100%	101.5% （監視実績10,658/ 監視目標10,500 （施設数））		生活衛生課
		事業の内容	食品を廃棄する際の不正流通防止について指導	監視時に必要に応じて実施		生活衛生課
		評価	A	米トレーサビリティ法の啓発・指導 研修会(20回)等	45回	

(2) 食品加工施設などにおける自主管理の推進

アクション		2019年度計画		実績	備考	担当課
9	HACCPに基づいた食品営業者の自主管理の推進		「愛知県HACCP導入施設認定制度」に基づく新規認定施設数 5施設	11施設		生活衛生課
		事業の内容	保健所及び食品衛生検査所等による食品衛生教育講習会 300回	195回		
			食品衛生責任者養成講習会 16回	16回		
			食品衛生責任者再講習会 100回	100回		
			HACCP推進事業・自主衛生管理に関する助言・指導 1,100施設	2,124施設		
評価	A	大量調理施設及び食品製造施設に対するHACCPの導入支援 HACCP導入研修 15施設 HACCP実地指導 5施設×1回	30施設 6施設×1回			
10	食の安全に関する検査・製造技術の研究及び指導	目標	あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターにおける技術指導・相談件数 5,700件	6,100件		産業科学技術課
		事業の内容	講習会等を通じた技術情報の提供	36回		
		評価	A	食品製造業者への技術指導の実施	2,836件	

視点 2 食の安全のための効率的かつ効果的な監視・検査等の実施

(1) 食品の監視・検査の確実な実施

アクション		2019年度計画		実績	備考	担当課
11	安全な学校給食用物資の供給	目標	学校給食における食中毒の発生件数 0件	0件		保健体育課
	評価	A	事業の内容 ・食材の腸管出血性大腸菌O157検査 ・野菜・果物の残留農薬検査 ・調理品のO157及び細菌検査 3種検査 168検体	3種検査 167検体		
12	食品営業施設に対する監視指導	目標	食品事業者を原因施設とする食中毒発生件数 12件以下	11件		生活衛生課
	評価	A	事業の内容 監視指導計画 88,396件	87,626件		
13	医薬品成分を含む健康食品などの流通防止	目標	医薬品成分を含む健康食品による健康被害発生件数 0件	0件		医薬安全課
	評価	A	事業の内容 医薬品的効能効果を標ぼうする健康食品の監視指導 15件 医薬品成分を含む健康食品の買い上げ検査 12検体	39件 12検体		
14	輸入食品を含む食品の安全検査	目標	流通食品を原因とする食中毒等健康被害事例 0件	0件		生活衛生課
	評価	A	事業の内容 食品衛生監視指導計画に基づく食品などの検査の実施検査計画 11,803件	12,207件		
15	安全な食肉の流通確保	目標	食肉を原因とする人獣共通感染症健康被害事例 0件	0件		生活衛生課
	評価	A	事業の内容 検査実績(と畜検査頭数+食鳥検査羽数)／申請件数(と畜検査頭数+食鳥検査羽数) = 100%の達成 と畜場の衛生監視 12件	100% 12件		
16	食品表示の調査・監視	目標	夏期一斉監視における表示不適の割合 1%以下	0.03% 表示不適3件 監視件数9,049件		生活衛生課
		事業の内容	消費生活モニターへの食料品に関する情報提供 3回	3回		県民生活課
			消費生活モニターなどへの食の安全・安心に関する知識・情報の提供 研修会(1回)など	研修会1回		健康対策課
			食品表示基準(保健事項)をホームページにより情報提供	ホームページに情報掲載		生活衛生課
			食品衛生監視員による食品表示法監視の実施 継続	監視時に必要に応じて実施		
			食品表示法に基づく食品表示基準(品質事項)の遵守状況調査の実施 計画実施率100%	109% 437件		食育消費流通課
食品表示110番の設置 継続	継続					
評価	A	普及啓発研修会の開催 20回	45回			

視点 3 県民の食の安心に向けた普及啓発・教育の充実

(1) 食の安心に向けた食育の推進

アクション		2019年度計画		実績	備考	担当課
17	地産地消や食育の推進	目標	食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 10万人	11.1万人		食育消費流通課
		事業の内容	いいともあいちネットワーク会員の充実	1,649件		
			ホームページなどの情報発信の充実 継続	118件(Facebook)		
			いいともあいち地域サロンの開催 7地区	7地区で開催		
			いいともあいち推進店の登録の推進	1,234店舗		
評価	A	食育推進ボランティアに対する研修会などの開催 7回	8回			
アクション		2019年度計画		実績	備考	担当課
18	学校における食の指導の充実	目標	学校給食において地域の産物を活用する割合 45.0%	39.3%		保健体育課
		事業の内容	「愛知を食べる学校給食の日」の実施 全ての学校給食を実施する公立学校で年3回実施	年3回実施		
			学校給食における県内産米飯の実施回数 3.6回/週	3.7回/週		
			学校給食における県内産米粉パンの年間活用食数 240万食	229万食	新型コロナウイルス感染症により政府の要請で3月において、学校が臨時休業となったため	
			子どもを対象にした調理コンクールを開催 応募件数 12,000点	11,455点	地域により応募件数が減少したため	
			学校給食の衛生管理等に関する調査研究 10調理場	11調理場		
			栄養教諭・学校栄養職員衛生管理研修会 1回/年	1回/年		
			学校給食調理員衛生管理研修会 1回/年	1回/年		
評価	B	学校食育推進者養成講座を開催 学校における食育推進の核となる教員養成を図る。 400人	400人			

(2) 食に関するリスクコミュニケーションの推進

アクション		2019年度計画		実績	備考	担当課
19	消費者に対する食の安全に関する知識普及	目標	講習会参加者アンケート結果「理解が深まった」旨の回答 90%以上	83.6%		生活衛生課
		事業の内容	消費生活情報「あいち暮らしっく」、「消費生活情報メールマガジン」及びSNS (Facebook、Twitter) への食の安全・安心情報の掲載 随時	5回		県民生活課
			消費生活相談員に対する食品の安全に関する知識・情報の提供 随時	5回		
			食品衛生講習会 30回	19回	県民の要望に応じて開催するが、目標達成には至らなかったため	
			食の安全・安心教室 4回	9回		
評価	B	Facebookページによる食の安全・安心情報の発信 随時	情報発信 19件			
20	食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進	目標	リスクコミュニケーション参加者アンケート結果「相互理解が深まった」旨の回答 95%以上	93.3%	目標値に届かなかったため	生活衛生課
		事業の内容	食の安全に関する総合相談窓口の設置 継続	相談件数 37件		
			食の安全・安心タウンミーティングの開催 12回	12回		
			現地見学型リスクコミュニケーション 2回	2回		
評価	B					